
第16回日本ジャンボリー(16NJ)・
第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー(30APRSJ)
に関するQ&A



2012年7月28日~29日

16NJ派遣団長会議配布資料

目次

1. 参加費・予定申込み・確定申込み関係	1
2. 準備訓練	1
3. 参加者への支給品	2
4. 県連盟派遣団本部・実行委員会	2
5. 県連盟派遣団と参加隊の編制	3
6. ベンチャースカウトのIST	3
7. 派遣団長会議・SC会議等	4
8. 各国・各県連盟派遣団本部（ワールド/APRスカウトセンター）	4
9. サブキャンプ（SC）関係	4
10. 成人生活エリア（アダルトSC）関係	5
11. 見学関係	6
12. プログラム関係	6
13. 安全関係	7
14. 輸送関係	8
15. 食事関係	9
16. 炊事燃料関係	9
17. 販売関係	10
18. その他	10

第16回日本ジャンボリー (16NJ)

第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー (30APRSJ)

に関するQ&A (事前質問等への回答)

2012年7月25日現在

* 本資料は、16NJ派遣団長会議の事前質問(質問に<県名>が記載されているもの)に加えて、これまでに質問があった内容を分類・整理したものです。

1. 参加費・予定申込み・確定申込み関係

Q1-1. 予納金はいつまでに納入したらよろしいですか?

A. 2012年(平成24年)9月末日までに県連盟で取りまとめ、10月末日までに県連盟から日本連盟へ予定申込人数を伝えるとともに、予納金1人1万円の予納金を送金してください。

Q1-2. 予納金納入時に予定申込名簿を添えて手続きをするのですか?

A. 予定申込みの段階では、参加隊の名簿は不要です。ただし大会運営スタッフ(IST・JDT等)については、大会各部の編制を進める必要がありますので、本人の希望部署を含めた申込書を提出していただきます。申込書書式は8月下旬に各県連盟にお送りするとともに、16NJホームページからダウンロードできるようにします。なお、16NJプリテン1号の2ページで「予定申込締切8月末日」と図表に記載しておりますが、これは誤りです。基本実施要領のとおり、「9月末日までに所属県連盟に提出」をお願いします。

Q1-3. 予納金の残金はいつまでに納入したらよろしいですか?

A. 2013年(平成25年)年3月末日までに確定申込みと同時にお願いします。

Q1-4. 確定申込みについて、県連盟への確定申込みが2月末になっていますが、現在の小学6年生、中学3年生は4月上旬でないと学校やクラブの関係がわからないので申込みを躊躇しておられます。出来れば確定申込を4月上旬にしてもらえませんか <兵庫>

A. 確定申込みは2013年3月末日までとなります。4月以降については、基本実施要領8ページ「参加費の残金」の項に示されているとおり、他の参加者の参加費に振り替えることが出来ますので、申込者の変更が可能です。

Q1-5. 基本実施要領に「オペレーションきらら」の説明がありますが、1人1000円をいつ納入したらよろしいですか?

A. 確定申込時に合わせてお願いします。

Q1-6. 参加申込書・様式(参加隊、大会本部スタッフ、派遣団本部員)はいつでも書式が示されますか? <埼玉>

A. 予定申込み時点(予納金納入時)では、大会運営スタッフについては、人数、名簿、奉仕希望部署、派遣団本部員については、人数と名簿を提出する必要があります。書式は8月下旬に各県連盟事務局に送付されます。

確定申込み時点では、コンピュータを使った登録が予定されています。詳細は決まり次第発表されます。

2. 準備訓練

Q2-1. 準備訓練はどのように進めたらよいでしょうか。

(Q. 参加隊の事前訓練「留意事項」の内容はいつでも示されますか <埼玉>)

A. 23WSJでは日本派遣団として準備訓練計画を示すことになっていますが、16NJでは県連盟

派遣団ですので、県連盟の計画に従って進めることとなります。ただし、大会として前回大会の評価・反省を踏まえて、準備訓練にあたっての「留意事項」を派遣団長会議等で示しますので、ご配慮願います。

3. 参加者への支給品

Q3-1. 「基本実施要領」の8ページ、(3)経費の内訳の2)に「大会ネッカチーフ」とありますが、支給されるのでしょうか？ また、大会期間中はこのチーフの着用が必須でしょうか？（県連盟では用意しなくて良いのでしょうか。用意したとしても着用は不可でしょうか）<京都>

A. 大会ネッカチーフは参加スカウト、引率指導者、大会運営スタッフ、派遣団本部員等の区分に応じて色分けされたものが支給され、大会期間中は「参加者」であることを識別し、その「区分」を表すために着用します。大会期間中は大会で支給されるネッカチーフの着用が大原則となりますので、県連盟等でネッカチーフをご用意いただく必要はありません。

Q3-2. 参加章（ワッペン）、IDカード、大会ネッカチーフ等の参加者への支給品はいつ頃県連盟へ送付されますか？

A. 現在ボーイスカウトエンタープライズ（旧スカウト用品部）の協力を得て、最も良い条件での制作を検討しており、具体的な納品時期は決定されていませんが、大会前の出来るだけ早い時期に各県連盟へ送付できるように調整しています。

Q3-3. 国旗標章（国旗ワッペン）を制服に付ける必要はありますか？

A. 日本ジャンボリーは、これまでも外国からの参加があり、国際大会として派遣団員章（国旗標章）を着用しています。今回は日本ジャンボリーに加えて、第30回APRスカウトジャンボリーとして開催するため、派遣団員章（国旗）の着用は必要となります。

4. 県連盟派遣団本部・実行委員会

Q4-1. 現時点で県連盟派遣団長と県連実行委員長の役務分担が明確に示されていない様に思えます。県連盟内のことではありますが、役務の方向性を明示してください。<栃木>

A. 県連盟の事情により役割分担は異なります。通常、派遣団長は派遣団の責任者として16NJに必ず参加する方でなければなりません。これに対して、実行委員長は大会の参加が望まれますが、絶対条件ではなく、県連盟内で派遣団の編成、大会への協力・支援等も含まれます。県連盟によっては、派遣団長と実行委員長を同じ方が担うこともあります。

Q4-2. 基本実施要領には県連盟参加隊の1班に対して2人の割合で国際サービスチーム員（IST）を出すことが示されていますが、JDT、JCT、JMT、実行委員は、この人数に含まれますか？

A. 含まれます。ただし、日本連盟の役務（理事・評議員等）で委嘱された場合は除きます。

Q4-3. 県連盟派遣団提供プログラムのためのスタッフは、県連盟からのISTの人数に含まれますか？

A. 含まれます。

Q4-4. 県連盟派遣団本部員の人数について教えてください。

A. 県連盟の派遣団本部員（県連盟派遣団本部に詰める要員）の人数は、参加隊2隊に対して1人を標準割合としています。県連盟派遣団本部員は、県連盟からの大会運営スタッフ（IST等）の人数には含まれません。

Q4-5. 16NJでは、16歳、17歳のISTが参加可能ですが、これは県連盟からのISTに含まれますか？

A. 含まれます。

5. 県連盟派遣団と参加隊の編制

Q5-1. ベンチャースカウトについては、ISTへの奉仕と参加隊としての参加がありますが、ベンチャーの位置づけとしてはどのように考えているのでしょうか。参加隊編制の考え方を教えてください。<兵庫>

A. 世界スカウトジャンボリーでは、9人のスカウトに1人の引率指導者で1班が編成され、引率指導者はサブキャンプの役割分担が求められますので、年齢の高いベンチャースカウトを班長として運営する必要があります。16NJでも同じ仕組みで班と隊の運営が行われます。

これに加えて、16歳以上のベンチャースカウトは、基本実施要領の5ページに示されているとおり、23WSJにおけるISTの養成を目的に、ISTとして参加できます。

Q5-2. 参加隊の編成について。1班9人のスカウト内訳としてベンチャースカウト・ボーイスカウトの人数は決められていません。1班あたりのVSの必要人数をご教示願います。<千葉>

(ベンチャー隊として参加隊を組織してよろしいでしょうか?<福岡>)

A. 1班あたりのベンチャースカウトの人数は定められていませんが、ボーイ年代からベンチャー年代までの年齢が偏らない班編制をお願いします。引率指導者のサブキャンプ内の役割を考慮すると、年齢の高いベンチャースカウトを班長に選任することが望まれます。

ベンチャー年代だけの班編制、ボーイ年代だけの班編制は、16NJ、23WSJの班・隊運営には適していませんので、ご配慮ください。

Q5-3. 隊の班編制は、BS3班、VS1班を、例えば、BS2班、VS2班に変更しても問題ないでしょうか?<新潟>

A. 今回の16NJでは、23WSJの仕組みで隊・班の編制を行う必要がありますので、ボーイ年代のみの班、あるいはベンチャー年代のみの班を編制しないで、ボーイ年代とベンチャー年代の混成による編制を行う必要があります。

5-4. 大会運営スタッフですが、遠距離地でも前日集合でしょうか?県連盟派遣団と行動を共にすることは出来ないでしょうか?<福島>

A. 16NJでは23WSJプレジャンボリーとして、23WSJの運営方法で実施するため、参加者入場前にIST訓練、参加者出発を送り出すまでが任務となりますので、県連盟派遣団の参加隊と一緒に入退場は出来ません。

Q5-5. 大会運営スタッフも参加隊と同日程の参加(7月31日入場~8月8日退場)を認めてほしい。多くの指導者は、参加意欲はあっても仕事のため長期休暇の取得が困難です。<島根>

A. 指導者の長期休暇取得が困難なことへの対応として、参加の役務により交替参加が認められました。交替参加ですので、同じ条件(参加の部署・年代・性別等)での交替者がいることが前提となります。前半だけ、後半だけの参加は認められません。

大学生の場合は、試験期間が重複する場合等に対応するため、遅参参加を認めることになりましたので、ご理解をお願いします。

6. ベンチャースカウトのIST

Q6-1. ISTへ入るベンチャースカウトについては、できるだけスタッフの一員として扱っていただきたい。一方的に業務を押し付けられて、ベンチャースカウトがづらい思いをしないように配慮をいただきたい。<富山>

A. 今回のISTとなるベンチャースカウトは23WSJでのISTを養成することを目的としていますので、奉仕隊的な役割ではありません。このことは、各部で再確認して受け入れますので、23WSJでも活躍できるよう配慮されます。

7. 派遣団長会議・SC会議等

Q7-1. 派遣団としての大会への要望はどのように出せますか？

A. 期間中に毎日派遣団長会議が開催されますので、そのときに各国派遣団、各県連盟派遣団としての要望、あるいは質問を出すことができます。会議以外のときは、大会「派遣団サポート部」が窓口となります。

Q7-2. 参加スカウトや引率指導者から大会への要望等はどのように出せますか？

A. 大会として参加者とのパイプはサブキャンプ部が担いますので、班長から引率指導者、引率指導者からSCへと要望を出すことができます。

Q7-3. 15NJの時は派遣団長会議が集合日前に開催されましたが、今回もそのようなことがあるのでしょうか。<福島>

A. 最初の派遣団長会議の開催日に万一間に合わない場合でも、派遣団長会議は毎日開催されますので、情報の共有が行われます。

Q7-4. 派遣団長会議で解決できない事項は、どのように回答を得ることができますか。

A. 16NJでは、派遣団長会議の記録と、その時に解決できない問題に対する回答を英語と日本語の文書で、その日のうちに各派遣団に配布する予定です。各派遣団はAPRスカウトセンター内1カ所に設置されるビジョンボックス（文書受領箱）で書類を受領することができます。

8. 各国・各県連盟派遣団本部（ワールド/APRスカウトセンター）

Q8-1. APRスカウトセンターのスペースと資機材はどのようなものが用意されているか。県連盟派遣団としての業務が遂行できる様考慮していただきたい。スカウトセンターの使用出来る時間は何時から何時まででしょうか。<埼玉>

A. 現在、きららドームでブース形式での提供が計画され、会場との調整が行われています。展示場所と派遣団本部が同じ場所になり、派遣団本部の業務ができるよう椅子、テーブル等が用意されます。会場との調整により、屋外への設置となる場合は、テント、椅子、テーブル、展示ボード等が提供されます。

施設の利用時間は通常9時から22時が基本となっていますが、前後の時間帯の利用等を調整しています。

Q8-2. APRスカウトセンターでのプログラム提供で、個人配布用の分の費用を徴収できるか？<福岡>

A. 金銭の授受はできません。従って、販売も認められません。

9. サブキャンプ（SC）関係

Q9-1. 参加隊の「SC配置」はいつごろ決定しますか？<埼玉>

A. 2013年3月末の確定申込みの集約後に発表される予定で、5月頃が見込まれます。そのためには、各県連盟からの確定申込みが期日までに届いている必要がありますので、何卒ご協力をお願いします。各派遣団の参加隊は別々のSCに配置される予定です。

Q9-2. サブキャンプ内のサイト割りの方法が決定していればご教示願います。<千葉>

A. 同一派遣団の参加隊は、幅広い交流を目的に、そして23WSJでのホスト国連盟の参加隊としての役割を考慮し、別々のSC、SC内では離れたサイトとなる予定です。

Q9-3. 外国スカウトとの混成はどのようになりますか？<千葉>

A. 16NJでは全体で6つのSCが設置され、外国スカウトはそのうち2つのSCに配属されます。日本隊の中に外国参加者が分散配置されることはありません。

Q9-4. ハブとは何ですか

A. いくつかのSCへのサービスを取りまとめるものとしてハブが設置されます。運営面の連携のほか、クリニック、ショップなど施設面でのとりまとめもあります。16NJでは、会場の区分の関係で、大きな道路を挟んで4つのSCと2つのSCにそれぞれ1つのハブが設置されます。23WSJでは4つのSCごとにハブが設置される予定です。

Q9-5. 大会期間中、連絡手段となる携帯電話などの充電サービスはありますか？

A. SCとハブでのサービスは検討中ですので、決まり次第、県連盟に連絡をします。

Q9-6. 15NJのTREEのSCでは、参加隊長への連絡は携帯メールを活用し、素早い情報提供に効果があり、参加隊長のほうからも高い評価を得ました。今回は、インターネットの環境はどのようなものを配備されるのでしょうか？ また、その活用方法について教えてください。〈富山〉

A. 23WSJが開催される2015年には、これまでの携帯メールよりも、スマートフォンを活用した発展した通信が見込まれます。そのため16NJでも様々なICT活用が検討されていますので、SC運営にも導入されることが期待されています。同時にシンプルな情報伝達も行われます。

10. 成人生活エリア（アダルトSC）関係

Q10-1. 15NJの時は県連派遣団本部生活用にマーキー等を各県連盟が持参しましたが、今回は支給されますか？ また各県連盟や大会運営スタッフの区割りをきちんとお願いします。前回遅く到着した県連盟はテントを張るところが無く苦慮していました。〈福島〉

（派遣団本部員とIST等大会運営スタッフのテントは、所属県連盟で準備すればよいのでしょうか？ また、その場合、大会運営スタッフは、県連盟毎の宿泊でよいのでしょうか？ 〈富山〉）

A. 16NJでは、40人あたり25m×20mの区割りが予定され、派遣団本部員も大会運営スタッフも県連盟単位でまとめて配置されます。これにより、県連盟派遣団本部による自治をお願いすることになります。テントについては、有償（1人あたり1万5千円前後）で提供するものを使用してください。予定です。

Q10-2. 成人エリアにおいて日本連盟が有償で貸与するマーキテントの価格について問合せをしたところ、かなり高い金額でしたので、持込で対応したいと思っておりますが、よろしいでしょうか？

〈富山〉

A. 15NJの成人SCでも人数に対する区割りが行われましたが、スペースが不足した反省を踏まえ、現在のところ、有償で提供するテントを指定区画内で使っていただく予定です。

Q10-3. 県連盟派遣団用に斡旋するテントのサイズ、費用について通知・送付時期を知らせてください。〈島根〉

A. 費用を出来るだけ抑えられるように、現在、マーキタイプかドームタイプかテントの種類を調整を進めています。費用は今後発表されますが、1テントあたりの使用人数により異なり、1人あたり1万円から1万5千円程度を見込んでいます。

Q10-4. 成人サブキャンプは、「県連盟派遣団ごとにサイトを割り当てる」とあるが、この「県連盟派遣団」は、IST・JDT等を含むのか含まないでしょうか。もし含むのであれば具体的に明示して通知してください。（15NJでは後からあいまいな通知が出たため混乱しました。）〈島根〉

A. 県連盟の派遣団本部員、IST等の運営スタッフを含んで派遣団ごとにサイトが割り当てられます。従いまして、所属部署ごとではなく、所属県連盟ごとのサイトになります。

- Q10-5. テント生活を長期間快適に過ごすため、WSJではマーキーテントを使用していますので、16NJでも使用できますか。なお、活動は班単位を基本とします。<新潟>
- A. これまでのWSJでは、成人SCでマーキータイプを使用することもありましたが、スカウトがいるSCでは、ドームタイプが殆どです。

- Q10-6. 大会本部員、派遣団運営スタッフの宿泊テントについて、当県連盟では展張貸与を考慮しています。床が設置している資料が示されていますが、資料通りと理解してよろしいか説明をお願いします。<埼玉>
- A. 実行委員会・部長会議等の配付資料をご覧になった質問でしょうが、これは検討用資料で、どのタイプのテントを使用するか経費面を含めて調整しています。

- Q10-7. 成人生活エリアを含むジャンボリー会場内で飲酒はできますか 検討中
- A. できません。外国指導者は16NJで23WSJに向けた評価を行いますので、ジャンボリーがスカウトの大会であることを再確認いただき、ご理解をお願いします。

- Q10-8. ジャンボリー会場内で喫煙はできますか。
- A. 指定された喫煙所のみで可能ですが、いかなる場合であってもスカウトの前では喫煙はできません。

11. 見学関係

- Q11-1. 会場の視察は自由に行って良いですか？（事前視察）
- A. 事前の視察については、公道や公園から自由に見ることが出来ますが、SCあるいはプログラム予定地内は工事中であり、立ち入りが出来ません。必ず、視察前に日本連盟事務局23WSJオフィスにご連絡ください。

- Q11-2. 見学者はSCに入れるのか
- A. 自団の参加者の引率がある場合、SC広場まで入ることが出来ます。

12. プログラム関係

- Q12-1. プログラム提供のためのプログラム担当ISTは、派遣団本部員で指名しますが、運営スタッフは、1ブース3名程度とされています。割り当てられている大会運営スタッフとして参加する当該県連盟奉仕者を選任して宜しいですか。また、大会運営スタッフから配属される方は外国人が中心ですか？<兵庫>
- A. 参加者1班あたり2人、1隊あたり8人の大会運営スタッフとなる中から選任することになります。県連盟派遣団提供プログラムへの他からの配属については、内容により必要が無い場合もありますし、外国人の方が良い場合もあります。当該県連盟との調整によります。

- Q12-2. 参加スカウトはどのプログラムに参加することができますか？
- A. 参加スカウトはSCごとに割り当てられたスケジュールに従い、場内で実施されるGDV、CRC、COSのモジュールアクティビティと、1つの場外プログラムに参加します。ただし、23WSJのプレジャンボリーとして、すべてのプログラムで外国のスカウトを受け入れるリハーサルを行うため、外国スカウトはすべての場内のプログラムと2つの場外プログラムに参加することになります。

- Q12-3. 「県庁国際課においてアニメーションがつけられるまでの紹介」を予定し、パソコン・プロジェクター・レコロ（連続撮影デジタルカメラ）を使用するため、電源の準備をお願いします。<埼玉>
- A. 大変申し訳ありませんが、現在のところプログラムエリアへの電源の供給は予定されていません。

Q12-4. 県連盟派遣団提供プログラムのプログラム運営費は、ひとつのプログラムあたり10万円ですか。それとも県連盟あたり10万円ですか？

A. プログラムあたり10万円です。GDV1つ、CRC1つの場合は20万円になります。

Q12-5. 県連盟派遣団提供プログラムのプログラム運営費の振り込みは、いつごろになりますか？

A. 来年度の初旬を目途に各県連盟に振り込み口座を確認の上、プログラム提供数にあったプログラム運営費を振り込みます。

Q12-6. 県連盟派遣団提供プログラムのプログラム運営費の清算方法について、1枚1枚領収書を提出する必要がありますか？

A. 可能な範囲でお願いします。

Q12-7. 参加隊ごとにSC等での出し物の準備をした方が良いですか？

A. SC内での交流のために準備してください。

Q12-8. 各プログラム参加にあたって、指導者の同行は必要ですか？

A. 場内で実施されるプログラムは同行は必要ありませんが、バスの利用の有無に関わらず、場外に出るプログラム（地域社会奉仕、自然探求、水上活動、広島ピースプログラム）は、同行が必要です。

Q12-9. 各プログラムで個人配布用の分の費用を徴収できるか？<福岡>

A. プログラムでは金銭の授受はできません。

Q12-10. 派遣団提供プログラムで「凧作り」を検討しているが、会場内で凧をあげても良いでしょうか？<富山>

A. 派遣団提供プログラムを実施する場所ではテントが多数設置されるため凧あげは難しいので、会場内で可能な場所を利用計画と合わせて調整します。今後の案内をお待ちください。

Q12-11. ジョイン・イン・ジャンボリー（J I J）について、どのように実施すれば良いですか？

A. J I Jは、参加できないスカウトのためにジャンボリーのプログラムを体験してもらうことが一番の目的で、あわせて参加するスカウトにとっては派遣の準備となるものです。普段の隊活動または準備訓練等でプログラムを実施して頂ければと思います。

13. 安全関係

Q13-1. 災害時の緊急避難について、派遣団長会議で資料をもって説明してください。<埼玉>

A. 現在、関係行政機関と16NJおよび23WSJの両大会における緊急避難について協議しています。具体的な内容は、今回の派遣団長会議では発表できませんが、大会前のできるだけ早い時期に各県連盟にお知らせします。

Q13-2. 一般道路にキャンプサイトが近いので、テントサイトからものの紛失に注意が必要と思われるが安全対策はどのようになっていますか？（前回15NJでもあったため）<福島>

A. 会場の入退場は、大会としての安全管理を行います。各サイトでは自分自身での安全管理からお願いすることになります。

Q13-2. 傷害保険について、参加にあたって別途かける必要がありますか？

A. ジャンボリー開催年度の保険あるいは共済制度の内容が確定した時点で発表されます。外国参加者には、出発前に海外旅行傷害保険の付保をお願いすることになります。招聘事業での外国参加者には、事業として海外旅行傷害保険を付保します。

14. 輸送関係

Q14-1. 輸送に関して、参加隊の入場については、定められた集合場所と時間に集合すればよいのでしょうか？<福岡>

A. 指定日に指定場所に到着するようお願いいたします。到着時間は輸送調査により調整をお願いする場合がありますので、予めご了承ください。

Q14-2. 資材の搬入について、県連盟としては「トラック」輸送も計画していますが、よろしいでしょうか？ その場合、搬入時間は決まっているのか？<福岡>

(山口の会場は、道路などが整備されているのでトラック輸送も充分可能かと思われます。コンテナの場合、日数がかかり過ぎますので出来ればトラックも可にしていきたい。<兵庫>)

A. トラックによる資材の搬入も認められます。コンテナでもトラックでも指定された期間での搬入となります。

Q14-3. まもなく第1次輸送調査が始まるが割り当てコンテナ数が含まれますか？<福島>

A. 含まれますが、その後の計画による変更は可能です。

Q14-4. 荷物の搬入および搬出について、①トラックでSCまで搬入できるのか、また搬出の際にSCまでトラック入れるか、②コンテナをSCまで搬入できるのか、また搬出の際にSCまでコンテナ車入れるか教えてください。<埼玉>

A. 指定された日にSC近での搬入・搬出ができるよう調整しています。

Q14-5. コンテナの場所から、参加隊のテントサイトまでかなり距離があるが、コンテナの場所は当初の予定通りの場所で進められますか？<富山>

A. 最初はコンテナヤードに集積しますが、定められた期間にSC近くのコンテナ置き場に移動する予定です。

Q14-6. 荷物コンテナの数の制限がありますか。隊が1ブロックにまとまらない場合、荷物の搬入はどのようにしますか？<新潟>

A. 現時点ではコンテナの個数制限はありませんが、各県連盟からの輸送調査の集計により、調整をお願いすることも考えられます。参加隊のSCへの配属は、分散配置が予定されていますので、県連盟はらの参加隊が複数のSCに配属される場合は、定められたコンテナ置き場からの搬出入が必要となります。

Q14-7. 大会期間中、場内での自転車使用は、①派遣隊との緊急連絡等で可能か、②県連盟として何台使用可能か、教えてください。<埼玉>

A. これまでのWSJでは、大会運営スタッフと各国派遣団本部員は業務での自転車の使用が認められました。一方、参加隊指導者とスカウトの自転車の使用は認められませんでした。23WSJでも同様に実施する予定ですので、そのプレジャンボリーとしての16NJでも同様となり、派遣団本部員の自転車の使用は事前登録を前提として認められる予定です。台数等については今後標準的な利用方法が示されますので、これに従ってください。

Q14-8. 県連盟派遣団への「車両」貸与の有無、不可の場合は「自前調達」車両を使用してもよいのでしょうか？<埼玉>

A. 大会全体で必要な際の業務用車両の貸し出しは予定されていますが、会場内は歩行者優先で自動車の通行が制限されますので、全体の台数を少なくする見込みです。各部署、県連盟派遣団への車両の貸与の有無は、実行予算が編成される2013年3月に決まります。

15. 食事関係

Q15-1. 参加隊の献立表はいつ頃示されますか？<埼玉>

A. 大会準備は、2012年12月末までに大枠でまとめることとしていますので、年内には献立がまとまる予定です。従って、2013年2月に発行される16NJブリテン4号に掲載される予定です。

Q15-2. 調理汚水はどのように処理しますか？<新潟>

A. 各隊サイトではバケツなどで汚水をためて、汚水マスに運んで処理していただく予定です。汚水マスは2つのSCごとに1つを設置する計画です。

Q15-3. 氷の配給はありますか？

A. 現在のところ予定されていません。

16. 炊事燃料関係

Q16-1. 今回の大会は、ガスの使用になっていますが、班毎の炊事を行うことでのボンベの支給と考えると宜しいですか。<兵庫>

A. ガスボンベは必要な標準本数が支給されます。今後大会で指定するガスコンロを準備してください。

Q16-2. 炊事用器具がカセットコンロとありますが、この決定は23WSJを見据えた事と思うのですが、日本人のように使い慣れた者でも年間にかかりの事故が発生しています。外国人で使っていない国の人も居ると思われませんが、安全面で大丈夫なのでしょうか。英文だけの説明で取扱が可能でしょうか。<栃木>

A. 安全面に十分な配慮を行います。外国の参加者には、派遣団長会議等の機会に実物を使った説明を予定しています。

Q16-3. 6月23日の実行委員会の会議記録を見ますと、資料4-4③に「国内参加者は各自でコンロを持参するか事前販売するコンロを購入して持参する」とありますが、参加者負担金の5万円に含まれるのではないのでしょうか？ ガスについてはどうなのですか。普通は行事で必要な用品は参加費に含まれるものだと思うのですが、当県連盟ではスカウトの参加費を既に決定しています。追加金が必要になると予算を見直さなければなりません。追加の予算編成などは考え直してください。

<栃木>

A. カセットガスボンベは大会予算から支給されますが、16NJでは日本参加隊にコンロの持参をお願いすることになります。大会予算が限られていますので、何卒ご理解をお願いします。

Q16-4. 大会で使用するカセットガスの仕様・本数等について通知時期を知らせてください。

<島根>

A. 2012年12月末までに殆どのが決定する予定です。

17. 販売関係

Q17-1. 16NJの大会記念品は、すぐに売れ切れる商品が続出しないように、数量の検討をお願いします。事前販売を活用するようと言われるますが、現地での購入意欲が勝ります。<富山>

A. 前回の事前販売の活用及び数量の反省を踏まえ、現地販売数量も増量の予定にしております。現在、ボーイスカウトエンタープライズの協力を得て、複数の売店を設置して対応する予定です。

Q17-2. ランタンの燃料は現地で調達できますか？その場合、燃料の種類と価格を教えてください。<富山>

A. 販売サービス部では次のランタン用の燃料を2種類現地で販売する予定です。価格については、今後発表されますが、通常よりお求めやすい特別価格を提供します。

予約販売は、前回同様、来年の4月あるいは5月より受け付け、6月末に予約申込みを締め切りにする予定です。それ以外の燃料で希望がありましたらお知らせください。



Coleman(コールマン)
エコクリーン/1L 170-6759



プリムス ノーマルガス(小) IP-250G
NET: 230g
温暖な時期や低地での使用に適した一般用ガスです。
ブタンガス(ノルマンブタン約65%、イソブタン約33%他)

Q17-3. 県連盟派遣団本部(ワールドスカウトセンター)で販売は出来ますか

A. 販売は指定されたエリアで指定された関係者以外は出来ません。

Q17-4. 制服の変更について。大会期間中に新しい制服を紹介するように聞いていましたが、ファッションショー等をして参加スカウトに紹介する予定ですか。また、いつ頃から制服を変更する予定ですか。<兵庫>

A. 大会期間中の新制服の紹介等は未定です。23WSJでは新しい制服で参加できるよう検討が進められていますが、具体的な内容は今後になります。

18. その他

Q18-1. 制服の変更について、大会期間中に新しい制服を紹介するように聞いていましたが、ファッションショー等をして参加スカウトに紹介する予定ですか。また、いつ頃から制服を変更する予定ですか。<兵庫>

A. 23WSJでは新しい制服で参加できるよう検討が進められていますが、具体的な内容は今後になります。

Q. 資材等(材木、燃料(ホワイトガソリン))の斡旋はありますか?<福島>

A. 予定されていますが、具体的な内容は開催年になってから発表されます。

Q. ジャンボリー会場の気候はいかがでしょうか

A. 過去数年間のデータが公表されていますのでご参照ください。

以上